

【事業名】食品工場におけるCGS導入とEMSによる生産プロセスの制御改善を加味した面的利用推進事業

■ 事業概要

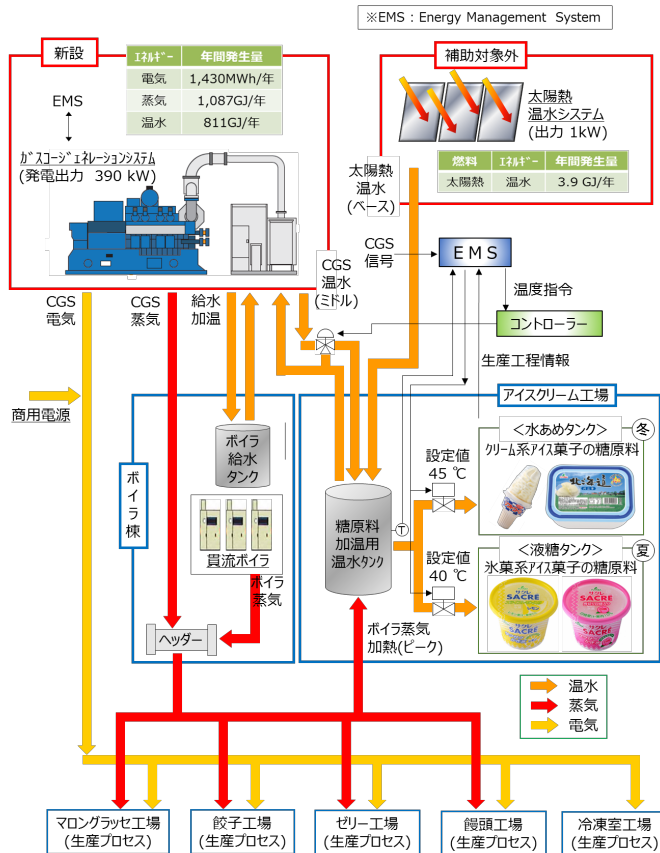
主な事業者	フタバ食品株式会社
事業地	栃木県宇都宮市下栗町1563
施設名称	フタバ食品株式会社 下栗工場
延床（施工）面積	119m ²
主に利用する再・未利用エネルギー	コージェネレーションの廃熱
主な導入設備	ガスコジェネ 390kW×1台
事業期間（稼働予定）	2016年9月～2017年3月 (2016年2月稼働予定)
省エネ効果見込	省エネ量:112kL/年、省エネ率:11%

■ 事業の特徴

- 新規にCGS、太陽熱温水システムを導入し、電気、廃熱回収蒸気、廃熱温水を各工場へ面的利用し省エネの最大化を図る。
- 3つの熱源（①太陽熱温水②CGS廃温水③ボイラ蒸気）をEMSで最適制御し、製品の品質向上及び歩留の改善を図る。

■ 導入効果

- 従来の生産システムと比較して、91 t/年の省CO₂削減(省CO₂率 11%)を見込む。
- 大規模災害等による停電時には、CGSにより電力給電を継続し、製品保存に必要な冷凍庫の電源を確保する。製品の出荷及び地域住民への炊出等の事業を継続する。



システムフロー